

2022年10月28日

地域の課題解決を図る地銀初の社会インパクトファンドを設立！！ ～ 地域課題を解決する「実践者への投資」ならびに「実践者の育成」に努めます ～

南都銀行（頭取 橋本 隆史）は、南都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 堺 敦行）ならびに株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ（代表取締役 青木 武士）と共同で「やまと社会インパクト投資事業有限責任組合」（以下「同ファンド」）を設立しましたのでお知らせします。

同ファンドは、奈良県およびその周辺地域（以下、やまと地域）における社会課題を解決するため、「実践者への投資」と「実践者の育成」をコンセプトに経済リターンを生み出すことを目的とした地域課題解決型の社会インパクトファンド*であり、地銀では初の試みとなります。

また同ファンドは、休眠預金等活用法に基づく資金分配団体である一般財団法人社会変革推進財団（理事 大野修一氏、以下「S I I F」）が指定する「地域インパクトファンド設立・運営支援事業」に採択されており、国内初の「休眠預金」を活用したファンドとして認定されています。

今後は、2023年3月末を目途に、ファンドの趣旨にご賛同いただける投資家の方々からの追加出資を募り、最終的には総額10億円規模のファンドを予定しております。

※インパクトファンド：経済的なリターンだけでなく社会課題の解決（インパクトの創出）を目的としたファンド

詳細は、以下のとおりです。

同ファンドの概要

名 称	やまと社会インパクト投資事業有限責任組合
無限責任組合員	南都キャピタルパートナーズ、キャピタルメディカ・ベンチャーズ
有限責任組合員	南都銀行
出資約束金額	500百万円～
投資対象	やまと地域の課題を解決するスタートアップ企業（詳細別紙ご参照）
運用期間	10年間（投資可能期間5年）

【本件に関するお問合せ先】

経営企画部（広報担当）古賀^{こうむら}・甲村^{こうむら} Tel. 0742-27-1599

南都キャピタルパートナーズ株式会社 遊田^{あそだ}・中尾^{なかお} Tel. 0742-27-1547

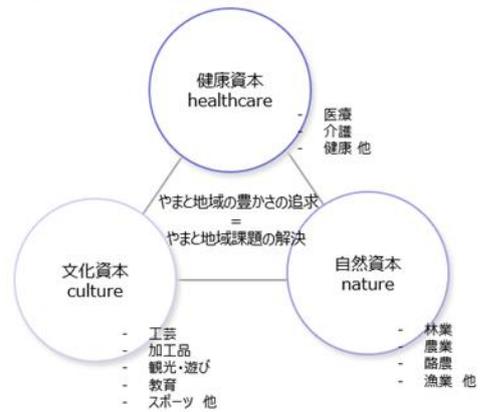
(別紙)

1. 投資対象

やまと地域の課題を解決するスタートアップ企業。
具体的には、やまと地域の豊かさの追求という
考え方において、

- ① ヘルスケア領域である『健康資本 (healthcare)』、
- ② 農業や林業、漁業といった『自然資本 (nature)』、
- ③ 教育や工芸や文化財、観光、スポーツといった『文化資本 (culture)』の3領域を対象としている。

投資対象領域

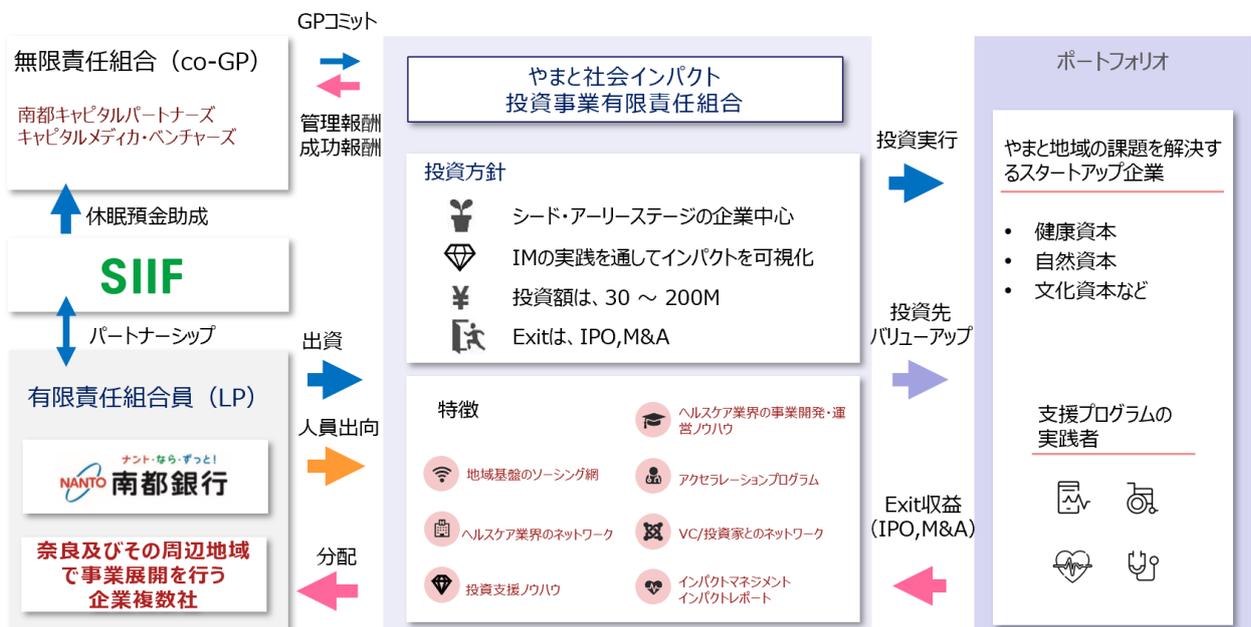


2. ファンド運営者の概要

社名	南都キャピタルパートナーズ株式会社
設立	2020年10月
所在地	奈良県橋本町16番地
資本金	1億円(南都銀行100%子会社)
代表取締役社長	堺 敦行
事業内容	投資業

社名	株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ
設立	2016年11月
所在地	東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング19階
資本金	1億円
代表取締役	青木 武士
事業内容	スタートアップ投資育成事業、勉強会、セミナー運営等

3. ファンドスキーム



4. S I I F概要

団 体 名 称	一般財団法人 社会変革推進財団 Japan Social Innovation and Investment Foundation(SIIF)
設 立	2018年9月
所 在 地	東京都港区赤坂 1-11-28 6階
理 事 長	大野 修一
事 業 内 容	社会課題の解決のため社会的・経済的な資源循環の仕組みを構築し、社会における大きな変革（ソーシャルイノベーション）の実現に寄与する事業

- ・同ファンドは、S I I Fが行う、社会や環境に与えた変化や効果を可視化する「社会的インパクト評価・マネジメント」に着目した地域インパクトファンド設立・運営支援事業に採択されており、休眠預金等活用法に基づく助成金の配分を受けています。

S I I F コメント

今回のインパクトファンドは、国内で初めて「休眠預金」を活用したファンド事業であり、加えて地域の金融機関が出資という形で協働する全国的にも珍しい取組です。先駆けとしての同ファンドが奈良やその周辺地域の課題解決を図りつつ、将来的には全国の地域インパクトファンドのロールモデルになることを期待しています